

こおりやま 市議会だより

第192号 - 令和2年3月定例会 -

桜が開花し、
新学期を迎えた永盛小学校の児童たち



がくとくんとおんぷちゃん



郡山市

発行日：令和2(2020)年5月1日

発行：郡山市議会

編集：こおりやま市議会だより編集委員会

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

TEL 024-924-2521 FAX 024-938-2810

メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp

主な掲載内容

3月定例会のあらまし、議決結果等	2頁
当初予算の概要	3頁
常任委員会の審査状況	4～5頁
代表質問	6～9頁
市政一般質問	10～17頁
議会改革特別委員会の活動状況、議員研修会	18頁
政務活動費検討委員会	19頁

令和2年3月定例会のあらまし

令和2年度一般会計予算など議案88件、議案1件を可決

3月定例会を、2月19日から3月18日までの29日間にわたり開催しました。

初日は、会期の決定等につき、議会改革特別委員会から中間報告を受け、その後、市長が提出議案の提案理由について述べました。

2月28日と3月2日の代表質問では、会派を代表し6人の議員が質問を行いました。

3月3日は4つの常任委員会で、付託された令和元年度補正予算等関係議案24件を慎重に審査し、5日の本会議では、各常任委員会の審査結果報告を受け、賛否が分かれた議案に、2人の議員から反対の討論があり、採決の結果、議案24件を可決しました。

6日から11日までは、14人の議員が市政一般質問を行いました。

ました。

12日と16日は、各常任委員会で、付託された議案62件と請願5件を慎重に審査し、最終日の18日の本会議では、各常任委員会の審査結果報告を受け、賛否が分かれた議案等に、3人の議員から賛成・反対の討論がありました。

その後、採決の結果、議案61件を全会一致で、令和2年度一般会計予算議案を賛成多数で可決したほか、請願1件を全会一致で採択し、4件を賛成少数で不採択としました。

また、追加提出の人事案件2件を全会一致で同意し、さらに、福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の議案1件を全会一致で可決し、全日程を終了しました。

全会一致で可決した議案等

令和元年度	補正予算	一般会計(第11号)	
		特別会計等	国民健康保険(第5号)、後期高齢者医療(第5号)、介護保険(第5号)、公共用地先行取得事業(第1号)、県中都市計画土地区画整理事業(富田第二(第1号)、伊賀河原(第3、4号)、徳定(第4、5号)、大町(第4、5号))、簡易水道事業(湖南(第3号)、熱海中山(第1号))、企業会計(下水道事業(第6号)、農業集落排水事業(第5号))
	当初予算	特別会計等	国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、公共用地先行取得事業、県中都市計画土地区画整理事業(荒井北井、中谷地、富田第二、伊賀河原、徳定、大町)、駐車場事業、県中都市計画郡山駅西口市街地再開発事業、総合地方卸売市場、工業団地開発事業、熱海温泉事業、母子父子寡婦福祉資金貸付金、簡易水道事業(湖南、中田、熱海中山)、財産区(多田野、河内、片平、月形、舟津、舘、浜路、横沢、中野、後田)、企業会計(水道事業、工業用水道事業、下水道事業、農業集落排水事業)
令和2年度	補正予算	一般会計	一般会計(第1、2号)
	特別会計	特別会計	県中都市計画土地区画整理事業(伊賀河原(第1号)、徳定(第1号)、大町(第1号))
条例	制定	郡山市部活動指導員の給与及び費用弁償に関する条例	
		郡山市スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの給与及び費用弁償に関する条例	
		郡山市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例	
		郡山市動物愛護管理員設置条例	
		土地区画整理法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係規程の整備に関する条例	

改正 条例	郡山市手数料条例	
	郡山市営住宅条例	
	郡山市印鑑条例	
	郡山市立公民館条例	
	郡山市職員の給与に関する条例	
	郡山市職員の特殊勤務手当に関する条例	
	郡山市行政財産使用料条例	
	郡山市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例	
	郡山市地域交流センター条例	
	郡山市食品衛生法施行条例	
	郡山市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例	
	郡山市総合地方卸売市場条例	
	郡山市道路占用料徴収条例	
	郡山市都市公園条例	
	郡山市上下水道事業の設置等に関する条例	
その他	郡山市消防団員の定員、任免、給与及び服務等に関する条例	
	郡山市体育施設条例	
	業務委託契約について	
	市道路線(認定、変更、廃止)	
	包括外部監査契約について	
その他	郡山市教育委員会委員の任命について	
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	

賛否が分かれた議案等

賛成は「○」、反対は「×」、会派内で賛否が分かれた場合等は「※」と表記しています。

件 名			議決結果	会派の賛否（志翔会は、議長を除く。）									
				志 翔 会	新 政 会	郡山市議会公明党	緑 風 会	社 会 民 主 党	日本共産党郡山市議団	虹とみどりの会	無 所 属 の 会	立 憲 民 主 党	国 民 民 主 党 ※1
3月5日 令和元年度補正予算関係議案等先議分				11人	10人	4人	4人	3人	2人	1人	1人	1人	—
予算	令和元年度一般会計補正予算（第10号）		原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—
	令和元年度水道事業会計補正予算（第4号）		原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—
条例	郡山市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	×	—
	郡山市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—
3月18日議決分				11人	9人	4人	4人	3人	2人	1人	1人	1人	1人
予算	令和2年度一般会計予算		原案可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
請 願	自衛隊の中東派遣に反対を求める請願		不採択	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×
	自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める請願書		不採択	×	×	×	※2	○	○	○	×	○	×
	福島県の漁業と漁業関係者の生活を守るために東京電力第一原発敷地内に保管されているトリチウム汚染水の海洋放出に反対する請願		不採択	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×
	I R推進法及びI R整備法の廃止を求める請願		不採択	×	※3	×	×	○	○	○	×	○	×

※1 国民民主党は、3月10日付けで結成。
※2 賛成2、反対2 ※3 賛成1、反対8



各議員の賛否は、市議会ウェブページを御覧ください。



採択した請願

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出請願書

可決した意見書

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

当初予算の概要

一般会計 1,426億8,000万円（対前年比2.1%増）
特別会計 639億721万円（対前年比0.9%増）
企業会計 348億8,652万9千円（対前年比0.5%増）
合 計 2,414億7,373万9千円（対前年比1.6%増）
※除染に要する経費を除いた額 2,241億4,377万3千円（対前年比4.2%増）

【主な事業等】

○台風第19号に係る災害への対応

87億4,632万円

（富久山クリーンセンター等の本復旧工事・道路・河川の本復旧工事など）



浸水したりサイクルプラザ

- ・（仮称）歴史情報・公文書館整備事業 約1億4,470万円
基本設計及び実施設計（施設、駐車場等）等
- ・開成山公園Park-PFI推進事業 1,100万円
開成山公園基本設計Park-PFI支援業務委託
- ・猪苗代湖一周サイクルツーリズム推進事業 498万円
インバウンド誘客に向けた環境づくり（自転車専用ナビアプリの活用）等
- ・新学習要領に対応したICT教育の充実 6,741万円
タブレット端末等機器リース料 等

令和2年3月定例会 常任委員会の審査状況

総務財政

市の計画、財政、税金、文化、スポーツなどについて



問 5レスを推進していくことで、市民にとってどのような利便性があるのか。

答 市民が窓口に来庁せずに各種手続きができ、便利だと実感できるようにペーパーレス、キャッシュレス、カウンターレス等を推進していく。

問 電力の供給が可能なPHV車※購入後の使用方法や配置予定施設は。

答 災害時における避難所の携帯電話やテレビ等の電源として利用することを考えており、避難所において電力が不足する場合等、状況に応じて、発電機と併せて活用していく。

※PHV車：プラグインハイブリット車。外部からの充電が可能で、ガソリンでも電気で走行できる車。

問 麓山地区に（仮称）歴史情報・公文書館を整備すると、現状でも駐車場が不足しているとの市民の意見もあり、現在の2倍となる640台程度の駐車場整備が必要ではないか。

答 当該施設の整備により現在より100台程度を増やす計画としていたが、今定例会で議員から出た多くの意見は、多くの市民の意見と捉えている。今後は、法令や周辺環境への配慮、国の交付金の対象が500台を限度としていることなど様々な制約があるが、要望のあった数字にできるだけ近い台数を確保していきたい。



建設水道 常任委員会

道路、河川、公園、上下水道などについて



問 開成山公園のように街中の周辺に店舗が多く立地する地域でパークPFIを実施する意義は。

答 パークPFIは、事業者が公園に設置する便益施設等から得られる収益の一部を公園施設の整備・改修に充てることができる制度であり、全国の先進事例では、飲食店、売店等にとどまらず特色ある便益施設が設置されている。

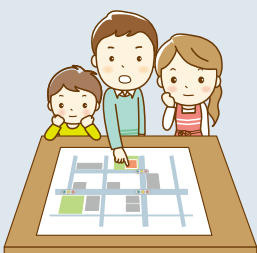
本市においても、開成山公園を市のシンボリックな公園にふさわしい施設として整備するとともに、効率的な管理運営及び民間活力導入による市民サービスの向上を図るために実施するものである。

問 老朽空家除却費補助金の対象となる物件は。

答 国の示した調査票に基づき、空家の基礎、外壁、屋根など複数項目にわたって評価をつけ、一定基準を満たすものが補助対象となる。

問 避難案内看板設置事業における表示内容などはどのような計画か。

答 土砂災害及び洪水の危険箇所や避難場所を示す看板を設置する計画であり、令和2年度においては、業務委託により表示内容や設置場所を検討していく。



令和2年3月定例会 常任委員会の審査状況



環境経済

常任委員会

生活環境、農業、商工業、観光などについて

問 東山霊園の墓地整備の詳細な内容は。

答 令和元年度の応募状況等を勘案し、3㎡を29区画、4.5㎡を31区画整備する予定である。

また、墓地ニーズを的確にとらえるため、市民へのアンケート等の調査を考えている。

問 台風第19号による被災家屋の解体撤去の申請期限、申請件数の実績及び今後の見通しは。

答 3月31日までの申請期限を延長する考えである。

また、申請件数は3月11日現在で240件あり、遅くとも8月までに終了するよう事業を進めていく考えである。

問 猪苗代湖一周サイクルツーリズム推進事業の詳細な内容は。

答 国内外のサイクルツーリストが様々なサービスを受けられる約30か所のサイクルサポーステーションの設置を予定しているほか、初めて訪れた方でもスムーズに走行できるように、アプリでの案内も考えている。

また、郡山ユラックス熱海の指定管理者の協力を受け、レンタサイクルも考えている。



文教福祉

常任委員会

福祉、子育て、学校教育などについて

問 公民館の窓口へ設置する自動翻訳機について、導入機器の概要と活用方法は。

答 小型の翻訳機を全公民館の窓口を設置し、地域の外国人への対応や行政窓口の案内等に活用したい。

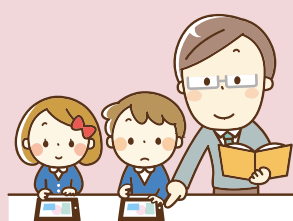
問 保育施設等の定員拡大を図るため、民間事業者が整備する認定こども園及び認可保育所に補助を行うとのことだが、設置地域等の条件はあるのか。

答 八山田地区及び日和田地区における保育需要が高いことから、市内北部区域を重点整備地区として施設整備を図りたい。

問 小・中学校に導入するデジタルドリルについて、利用できる対象者と活用方法は。

答 小・中学校の全児童生徒一人ひとりにアカウントを設定し、小・中学校に整備したタブレット端末等により、習熟度に応じたドリル学習に取り組むことができるよう整備する。

学校における算数・数学の授業で活用することを考えているが、授業以外の時間も利用できるよう整備したい。



令和2年3月定例会

代表質問

◎代表質問とは

会派を代表する議員が行う、市長の市政方針と提案理由に対する質問をいいます。

●発言時間

質問・答弁あわせて
交渉会派（4人以上）…1会派80分
非交渉会派（2～3人）…1会派40分

●記事の内容について

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

●録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

●会議録

市ウェブサイトや次の施設で御覧いただけます。

- ・市政情報センター（市役所西庁舎1階）
- ・中央図書館・希望ヶ丘図書館
- ・安積図書館・富久山図書館

なお、令和2年3月定例会の会議録が御覧いただけるのは、6月中旬になります。



会議録検索システム

水害対策に対する国・県への具体的な要望について



志翔会

川前 かわまえ

光徳 みつのり

議員



中央工業団地事業者等の水害対策への支援について

問

水害対策としての河川改修工事ができるだけ早く進むよう要望することも大事だが、本市も支川堤防かさ上げなどのバックウォーター対策等、最新の水害対策技術を研究し、具体的な要望をしていく必要があるのでは。

答

国・県へより効果的かつ具体的な要望を行うため、今後は、日本大学工学部と連携し進めているキャンパス強化プロジェクトで技術的な助言を頂くとともに、国・県に対し、引き続き抜本的な治水対策と流域が一体となった総合的な防災・減災対策を要望していく。



増水した阿武隈川

問

本市は県の「大企業の浸水対策工事費への補助事業」に、同額の上乗せを行う事業を今定例会に追加提案したが、対象を大企業限定にしておらず、中小企業は本市の補助だけであることから、本市補助を、大企業と中小企業の補助割合に差をつけ、県・市合わせた補助額を同額にする措置は考えられないか。

答

本市は、被災事業者等の水害自衛措置に対し、大企業・中小企業の別なく補助する予算を追加提案したが、当該補助金は、県創設の補助金に加えて、対象事業費の5%を助成予定であり、他の助成制度との複合的な組み合わせにより、被災事業者等のニーズにあった支援を可能にしたい。



新 政 会
廣 田 ひろた
耕 一 こういち
議 員



パークゴルフ場の建設について

問 「パークゴルフ場の早期建設を求める請願」が採択されて約5年が経過する。

パークゴルフは、健康増進や地域交流等ができる生涯スポーツであり、その専用競技場の設置は、大きなメリットがあると考えるが、長年にわたる検討段階から、建設に向けて軸足を移すべきでは。

答 これまで、県内施設の現状や必要な敷地面積、整備及び維持費用等を調査してきた。今後は、既存のスポーツ施設のあり方と整合を図りながら、適地の選定や財源の情報収集など、より具体的な検討を進めていく。



被災企業への支援について

問 東日本台風により被災した企業等への支援に係る取組み状況は。

答 本市では、被災企業の課題等の聞き取り、国・県等も含む支援策の総合案内や各種相談の取次ぎ、治水対策等の説明会などに取り組んできた。財政面では、災害対策資金融資や信用保証料・利子への補助のほか、中小企業の防災対策を対象とした県の新補助制度に連動した（仮称）郡山市立地企業事業継続対策補助金に係る予算を追加提案した。今後も、西部第一・第二工業団地への増設・移転に係る補助要件緩和や新たな災害対策資金融資、BCPの早期策定支援など、企業に寄り添った支援に取り組んでいく。



郡山市議会公明党
小 島 おじま
寛 子 ひろこ
議 員



保育所等の待機児童解消の見通しについて

問 受け皿整備として当初予算に待機児童ゼロに向けた緊急パッケージが示されているが、これにより、来年4月の待機児童解消が図られるのか。

答 待機児童解消に向けた事業のうち、保育所等の定員拡大については、認定こども園2施設や保育所4施設、定員490人分の施設整備を見込んでいる。

また、新たに保育士の宿舎借上げに係る費用助成や、潜在保育士等の活用を図る応援一時金の創設などにより、来年4月には保育所待機児童ゼロの実現が図られると考える。



保育ソーシャルワーカーの導入について

問 児童虐待や貧困家庭への対応などが求められ、通常の保育環境だけでは対応しきれないケースがあると考える。

そこで、国で新たに制度化される保育ソーシャルワーカーの必要性を研究し、導入について検討してはどうか。

答 各保育所で、子育てや家庭に関する相談にに応じているが、貧困や虐待・DVが疑われるなどの対応困難な場合は、こども家庭相談センター等で対応している。

今後、保育ソーシャルワーカーの配置により、早期の課題解決も期待できることから、関係機関において、ソーシャルワークへの理解を深めるとともに、更なる支援体制の充実に向け、検討を進めていく。



緑風会

いまむら
今村たけし
剛司

議員



資源回収推進報奨金の引上げについて

問 ごみ減量化の一環として資源回収事業が行われており報奨金は1kg5円である。

10円に値上げをしても、ごみ処理経費が減額されれば氣候変動に寄与できるものと思うが見解は。

答 郡山市資源回収推進報奨金交付制度は、ごみの減量や資源の有効活用、地域コミュニケーションの醸成等を目的とし、昭和58年度に1kg3円の報奨金単価でスタートし、平成7年度に1kg5円に引上げた。

県内13市の報奨金単価を踏まえ、現行単価を維持し、ごみの分別や食品ロスの削減等、市民協働により、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを推進し、資源循環型の社会を実現していく。

安積永盛駅周辺整備について

問 通学の送迎や高校・医療機関のバス等、朝夕の乗降者に対する交通安全対策が急務であり、当初予算に計上された駅西口広場の整備方針は？

答 利用者の利便性の向上と安全安心の確保を目的に、広場南側を一般車両3台、大型バス2台分の乗降場として改良するとともに、歩道橋下部に約40台分の駐輪場設置について、令和3年3月の供用開始を目指し整備を進める。



安積永盛駅西口広場整備イメージ

介護保険サービス基盤の充実に向けて

問 特別養護老人ホームの入所待機者数は令和元年11月1日現在2千84名で、このところ、ほとんど減少しない状況が続いているが、本市は、国の進める「特別養護老人ホームの入所待機者ゼロ」「介護離職者ゼロ」を目指すのか。

答 「第七次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画」において、特別養護老人ホーム入所待機者の解消に向け、施設整備を進めるなどしており、今後も、令和2年度策定予定の令和3年度から5年度までを計画期間とする「第八次計画」において、施設整備を進め、「特別養護老人ホームの入所待機者ゼロ」「介護離職者ゼロ」に向け、取り組んでいく。



社会民主党

やえがし
八重樫さよこ
小代子

議員



市有財産の有効活用について

問 当初予算案概要で、旧豊田浄水場施設跡地等の市有財産の有効活用を検討し、活用を図ると提案されているが、旧豊田貯水池跡地の有効活用について、市議会公有資産活用検討特別委員会の提言にある駐車場や自由広場等については検討されるのか。

答 庁内検討組織や外部有識者会議の「旧豊田貯水池利活用懇談会」で、跡地利活用のコンセプトや目指すべき方向性の検討を行ってきたが、その中で市議会からの提言である駐車場・広場としての利用についても検討事項のひとつとしている。



旧豊田貯水池



日本共産党郡山市議団

おかた てつお
岡田 哲夫 議員



(仮称)歴史情報・公文書館 について

問 公的施設の統廃合が焦点となる中、多額の費用で施設を新設するには、慎重な検討が必要である。

今でさえ狭い駐車場をつぶして建設することや候補地の検討、広大な交流スペースの必要性など、疑問が多くある。今回の提案は一度撤回し、課題を再度検討すべきでは。

答 現在の歴史資料館等は、保存環境が不適切であると有識者から指摘を受けており、耐震性能にも問題がある。

貴重な歴史資料等を適正に保存・活用し、また、歴史資料等のデジタル化を推進し、市民の研究活動の促進や経済活動活性化に寄与することが重要であると考えており、令和5年度の竣工を目指す。

代替講師の欠員について

問 産休、育休、病休等の代替が必要な時に、講師の配置ができなかった事例が、市内小・中学校において令和元年度中に何件あったのか。

答 これまで、病休・休職が26件中6件、産休・育休が34件中1件、合計60件中7件の未配置の事案が発生したが、3月1日現在の未配置は、病休1件、産休1件である。

未配置校では、定数以外に配置された教員の活用や校務分掌等の工夫などにより、教育活動に支障がないよう努めており、今後とも、未配置が生じないよう県に強く要望していく。



市議会ウェブページ

本会議や委員会の会議録、市議会中継などが御覧いただけます。

詳しくは郡山市ウェブサイトのトップページから、「郡山市議会」をクリックするか、「郡山市議会」で検索してください。

郡山市ウェブサイトアドレス

<https://www.city.koriyama.lg.jp/>



市議会ウェブページ
QRコード



本会議・委員会傍聴者数及びインターネット議会中継アクセス件数

(平成31年4月～令和2年3月)

〈傍聴者数〉

本会議…………… 853人
委員会…………… 12人

〈インターネット議会中継アクセス件〉

生中継…………… 24,085件
録画中継…………… 3,707件

令和2年3月定例会

市政一般質問

● 今回の質問者数 14名

● 発言時間

質問・答弁をあわせて 60分

● 記事の内容について

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

● 会議録

市ウェブサイトや次の施設で御覧いただけます。

・ 市政情報センター(市役所西庁舎1階)
 ・ 中央図書館・希望ヶ丘図書館
 ・ 安積図書館・富久山図書館

なお、令和2年3月定例会の会議録が御覧いただけるのは、6月中旬になります。



会議録検索
システム

放課後児童クラブへの空気清浄機の設置について



虹とみどりの会

へびいし
蛇石いっこ
郁子 議員

問

子どもたちが生活する放課後児童クラブ等の環境整備について、特段の注意を払っているかと推察しているが、保護者から空気清浄機の設置に関する要望が届いている。

空気清浄機は、花粉やハウスダスト等を防ぐ効果もあるため、早急に設置を検討してはどうか。

答

国の放課後児童クラブ運営指針や、学校環境衛生基準に定める換気基準により、感染症拡大防止策として定期的な換気を行っている。

そのため、現段階において、空気清浄機の設置を考えていない。

問

大気汚染防止法における通常の建物解体時のアスベストの飛散・ばく露防止対策は、

答

建物解体等の工事受注者は、アスベストの使用有無を事前に調査する義務がある。

市に使用の届出があった場合は、工事の立入調査を実施し、石綿飛散防止対策マニュアルに基づき、現場の状況に応じた指導を実施している。

また、作業中におけるアスベスト濃度測定結果の提出を求め、周辺環境への飛散がないことを確認している。





志翔会 佐藤 せいしょう

徹哉 てるや 議員



児童クラブ支援員の待遇改善について

問 支援員は、令和2年度から会計年度任用職員の位置づけになるが、責任感も強く、クラブの運営にも精通しており、志高く子どもへの面倒を見てくれる、リーダー的な支援員の方々に対する待遇を改善すべきと考えるが見解は。

答 現状の任用形態では、各クラブのリーダー的役割を担う職員とそうでない職員で待遇に差が生じていないが、会計年度任用職員へ移行するにあたり、新たに各児童クラブの責任者となる主任支援員を

設置する予定であり、業務内容を見直すとともに、待遇改善を図る。



ネット依存の危険性の学びについて

問 道具を与え、使い方を教えるなら、その心得を伝えるべきと考えるが、ネット依存の危険性や中毒性を学ぶ機会と内容は。

答 健康被害防止や危険性の情報リテラシー教育を各学校で行い、市PTA連合会及び市小中学校長会と連携し、リーフレット等の全保護者への配付等、情報リテラシー教育の充実に努めている。

さらに、教員へ毎年情報モラル講座を開催し、児童生徒を守る指導のポイント等について研修を行っている。

なお、長期の休業中にゲームやスマートフォン等の長時間使用等が懸念されるため、使用時間を決めるなど、保護者へ文書で協力を依頼した。

手話の普及について

問 市職員、サークル団体、市民や学生などを対象とした講座の実施状況は。

答 本市では、郡山市手話言語条例を施行し、初心者から手話通訳者養成までの、目的に応じた手話講座等による手話の普及・啓発に努めている。

令和元年度は2月末現在で、団体向け手話講座は、19団体1千290名が、一般市民対象の講座は、4団体246名が受講しており、市職員については、新規採用研修に手話実践研修を取り入れ、これまで224名が受講したほか、自主的な勉強会を実施している。

また、ICTを活用したウェブで学べる手話講座として、郡山市手話動画によって情報配信を行っている。

福祉避難所の開設判断について

問 利用者の判定等を踏まえ、福祉避難所の開設をどのように判断するのか。

また、開設後の情報提供は。

答 郡山市福祉避難所設置・運営マニュアルの判断原則に基づき、一般避難所で保健師等による巡回健康相談等を行い、一般避難所生活に支障があると判断した方に、関係機関等と連携を図り、介護サービス等の利用調整等を行ったうえで、家族構成など避難者の状況を踏まえ、福祉避難所の開設の判断をし、開設状況は、市災害対策本部会議にて報告し、情報の公表を行った。



福祉避難所を想定した防災訓練



新 政 会 渡 部 わたべ
（所属党派は質問日現在。3月10日以降は、国民民主党。）



小原田地域防災センター新設について

問 郡山中央地区隊中央第3分団第1班（小原田）の詰所は、台風第19号で浸水した。水害がある時に、陸の孤島になるこの地域に、地域防災センターの新設が必要では。

答 消防車庫詰所は、建築年数や老朽化の度合い、効果的な消防団活動のための統廃合の観点等を踏まえて、優先順位を付して整備を行う。

さらに、小原田地区への防災機能を有する詰所の新設は、浸水被害の状況や浸水ハザードマップの見直し状況等も踏まえ、移転の可能性も含め、総合的に検討していく。



詰所（小原田）前の浸水状況

課題解決先進都市郡山2.0の成果について

問 窓口の利用者数は減り、スマートフォンやパソコンからの手続きが増え、窓口業務も働き方改革が進み、市民の利便性はカイズンしたのか。

答 昨年4月から本年1月末までに、住民票等証明書のコンビニ交付は5千556件、住民票等電子申請は29件、ココナビこおりやまには476件の投稿があり、AI（人工知能）による問合せ対応業務では、延べ5千567件の利用があった。

さらに、AIやRPA※の導入で重度心身障がい者利用費助成事務や委託料等支払事務の業務量が97%削減される効果が確認されたほか、令和2年度から市県民税等のスマートフォン決済を開始する。

※RPA：パソコンを使う定型業務を自動化するソフトウェア



緑 風 会 大 木 おおき
すすむ
議員



大規模水害時における民間施設の避難所指定について

問 各地域における災害の態様、範囲等により、十分な避難所確保が困難な場合は、民間施設を避難所として検討する必要がある。

避難経路、避難距離、避難所の環境等を考慮した新たな民間施設の避難所設置が急務の施策と考えるが見解は。

答 本市は248か所の避難所を指定しているが、浸水エリア等の拡大に伴い、指定困難となる避難所も発生することから、市内2か所の私立学校と協定を締結し、緊急時における避難所確保を行った。

今後は、協定の締結により、民間施設を含めた避難所の拡大を図り、収容人数の増加に努める。

喜久田スポーツ広場の暗渠排水口の改善について

問 昨年の台風により、広場一帯が水没し、使用できる状態まで約10日間要している。水アカや土砂、雑草等が暗渠排水口に長年溜まることから、水溜まりの原因と考えるが、本市の管理整備対応は。

答 広場については、月2回の巡回によりコンディショニングを判断して、整備をしている。また、暗渠排水口についても、巡回時に、除草、堆積土砂の除去など必要に応じた作業をしている。



喜久田スポーツ広場の浸水状況



志翔会 塩田 しょうた

義智 よしとも 議員



安積総合学習センターの避難所開設時の準備について

問 今回の災害で避難所として開設する時点で、毛布や非常食などの提供物資はどの程度準備できていたのか。

答 備蓄品の整備基準を定めており、アルファ米及びクラッカー各1万5千食、毛布約1万枚等、23品目を市内に分散備蓄し、25団体との協定により物資供給体制を整えている。

当初、当施設は自主避難者30名を想定し、アルファ米90食、飲料水60L及び毛布60枚を配備し、翌日の住民避難情報の発令後に避難者が増加したため、備蓄品及び支援物資等を活用し、必要な物資を避難者に提供した。



安積総合学習センター

令和元年東日本台風の災害対応の検証について

問 市民アンケートの結果と合わせて各部署の検証も行い、今後の災害対応や防災対策に活かすとのことだが、具体的にどのような形で活かすのか。

答 情報収集・発信のあり方等、5つの視点で検証を進め、庁内で情報の共有を図り、各団体との懇談会等の意見や被災地区在住の約2千名を対象に調査を実施し、検証結果を5月末を目途にとりまとめる。防災意識の啓発を図るため、浸水ハザードマップやわが家の防災ハンドブックを全戸に配布し、今後、市民調査の結果等を踏まえ、災害に強いまちづくりを目指していく。また、災害を教訓に、これらを歴史的公文書として記録し、広く市民に伝えていく。

避難所の閉鎖時期について

問 昨年10月の台風19号における12月25日の避難所閉鎖は、避難所退所後の生活を充分配慮したものとは思えないが、適切であったのか。

答 11月19日から23日まで各避難所で実施した「住まいに関する要望調査」結果等により、各世帯ごとの居住先確保状況が把握できたことから、

12月12日の郡山市災害対策本部会議において12月下旬の避難所解消方針を、12月16日の同本部会議に12月25日での避難所終了方針を示し、12月25日に全避難者の退所を確認し閉鎖した。



水害で被災した家屋

古川ポンプ場排水と石刈町の越水について

問 昨年10月の台風19号では、古川ポンプ場周辺の浸水被害はなかったが、古川ポンプ場下流の石刈町で阿武隈川の越水被害があった。

古川ポンプ場の排水により水位が増したことが原因との声も聞かれるが、古川ポンプ場の排水時刻と石刈町の阿武隈川の越水時刻は。

答 台風第19号対応時の古川ポンプ場の排水開始時刻が、令和元年10月12日16時57分、運転終了は13日15時38分で、5台のポンプを断続的に運転した。

また、石刈町の越水状況については、本市では、10月13日1時55分にNHK速報、2時1分に国土交通省のエリアメールで情報を得た。



立憲民主党 吉田 よしただ

公男 きみお 議員





社会民主党

飯塚 いづか

裕一 ゆういち 議員



五百淵公園内の散策路等の 除染について

問 令和2年度から、森林公園や遊歩道など住民が身近に利用してきた里山の放射線量を低減させ、環境整備や森林再生を進める国の里山再生事業が実施される。

五百淵公園の野鳥の森の散策路には、現在でも $0.4\mu\text{Sv/h}$ と空間放射線量が高い場所があるが、今後、国の方針を受け、除染を行うのか。

答 里山再生事業は、除染、

森林整備、線量測定の3つの構成事業があることから、この制度の動向に注視するとともに、国等と協議し、事業の適合性を含め研究していく。



統合型校務支援システムについて

問 教職員の働き方改革のため、ICT活用による業務の効率化に向け、統合型校務支援システムが導入される。

その中には、客観的に教職員の勤務時間を把握するソフトウェアも含まれるなど、導入の効果を検証できるシステムとなっているのか。

答 主な機能は、児童生徒の

出欠や成績、学校の行事予定や教育計画、健康診断や保健日誌などの管理などがあり、様々な情報の電子化、一元管理により業務の大幅な効率化が期待できる。

なお、出勤時刻を客観的に記録し、勤務時間を管理する機能が備わっており、システム導入の効果を検証できるものである。

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～

	請 願	陳 情
受 付	市政一般質問初日の午後5時 ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時 ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。	●陳情書の写しを各議員に配付します。

請願書

年 月 日

郡山市議会議長様
(請願者住所)
(請願者氏名)
(紹介議員)

〇〇〇について
請願趣旨
請願事項

紹介議員が
必要

紹介議員は
不要



陳情書

年 月 日

郡山市議会議長様
(陳情者住所)
(陳情者氏名)

〇〇〇について
陳情趣旨
陳情事項



郡山市議会公明党

山根 悟 議員



固定資産税の減免について

問 昨年の東日本台風で被災した一般住宅等に係る固定資産税の減免を令和2年度でも引き続き実施すべきでは。

答 被災者に対する固定資産税等の負担軽減策は、地方税法で被災代替家屋等の特例が設けられている。

本市としては、過去の被災自治体の事例や近隣他市等の動向等を注視しながら、支援策の充実を図るため、令和2年度分の減免実施に向けて検討していく。



東日本台風被害の様子

食品ロスの削減について

問 持続可能な社会の構築に向けて、食品ロスの削減に積極的に取り組んでいかなければならない。

ごみの発生を抑制する手段の一つであるドギーバッグ（食べ残しを持ち帰る容器）の普及に取り組んでは。

答 県においては、飲食店等433事業所の協力を得て、ドギーバッグを配布し、食べ残しの持ち帰りを推奨しており、この取組みは、全国的に広がる傾向にある。

衛生上の問題など、課題はあるが、ごみの排出抑制や二酸化炭素の排出削減にも有効な手段であることから、先進自治体の事例等を調査し、その普及に向けて検討する。

新型コロナウイルスに対する事業者への支援策は

問 感染拡大による経済的影響を受ける個人事業者を含む中小企業・小規模事業者への融資制度といった国の経済政策だけでは不十分であり、市も予算措置し、企業や市民生活を守る政策を打ち出すべきと考えるが見解は。

答 3月9日現在22件の融資の問合せがあり、国や県の融資制度や補助金、支援策を中小企業や団体へ周知している。

市独自の支援策として、国の特別貸付制度等を踏まえ、令和2年度予算で資金融資を実施する予定であり、今後においても、国・

県・市等の支援策を広く周知し、利用促進を図る。



事業者支援の郡山市HP

郡山市職員の管理職への女性登用について

問 課長以上の管理職155人中、女性は11人で割合は7.1%、部長はゼロである。

男女に実力差があるとは思えないが、何故このような結果となるのか見解は。

答 係長相当職以上の女性管理職の全職員に占める割合は年々増加しており、課長職を担える年代となる50歳代の職員全体の女性の占める割合が平成31年4月1日現在16.4%、このうち昇格を希望する職員は62.8%である。

課長職は、組織の中枢を担い、性別によることなく、組織力の向上等、中長期的な観点や適性等を勘案し、全体配置の中で総合的に決定しており、今後も研修を通し、管理職としての意識醸成に努める。



無所属の会

好彦 議員





志翔会 久野 ひさの

三男 みつお
議員



（仮称）歴史情報・公文書館 の建設場所について

問 建設場所を麓山地区と限定するのは早く、熟慮すべきであり、東部地域の優位性を多角的に検討してもらいたいと考えるが見解は。

答 昨年8月に設置した「（仮称）歴史情報・公文書館基本計画に係る懇談会」の有識者や11月の「市民ワークショップ」の意見などを踏まえながら検討を重ね、中央図書館西側駐車場を候補地とした。

この候補地は、既存の文化・教育施設との相乗効果が期待され、市民等のアクセスも良好であることから、今後この方針で整備を進めていく。



中央図書館西側駐車場

ペップキッズこおりやま 8年間の成果について

問 ペップキッズこおりやまは、2011年12月の開設から丸8年が経過したが、この間の成果をどう評価しているのか。

答 開館当初は原子力発電所事故の影響で、屋外の遊びを制限された子どもたちのストレス及び運動不足解消の場として、近年は、天候に左右されず体を動かし遊べる空間として、年間約30万人の親子連れ等に利用されている。

ペップキッズには、遊びを誘導するスタッフの配置や調理体験コーナーの設置など、県内の他の屋内遊び場がない独自性・優位性があり、全国に先駆けた施設として、子育て世代を中心に多くの市民に愛されていると認識している。

今後の都市計画のあり方について

問 今後も大規模水害が想定されることから、長期的に水害のリスクを低減させるため、より高台に位置し、中央スマートインターチェンジ等の交通の利便性等も考慮すると、西部地区へ住宅や商業地域を誘導すべく、都市計画の抜本的な見直しをすべきでは。

答 本市では、令和元年東日本台風の被災者の生活再建等のため、市街化調整区域への移転許可基準の新設や居住促進区域内への転居者に対する補助制度を開始した。

今後は、台風による被害状況の検証を踏まえ、立地適正化計画の見直しのほか、より安全な区域への誘導など、持続可能な都市計画のあり方について総合的に検討していく。

大槻ふれあいセンターの 増築等について

問 大槻ふれあいセンターは、駐車場の広さや交通の利便性などから利用者が大変多く、大町大槻線が全面開通すれば、ますます利用者が増えると思われることから、増築と職員の増員に取り組むべきでは。

答 同センターの手続件数は減少しており、また、本市は行政手続のオンライン化を進めるため、増築については、施設使用の創意工夫で対応する。次に、職員については、平成26年から計5名増員しており、今後も、業務内容に応じた適正な人員配置に努める。



大槻ふれあいセンター



日本共産党郡山市議団

たかはし よしとも
高橋 善治 議員



高齢者のごみ出し支援について

問 国は高齢者等へのごみ出し支援に対して、特別交付税により50%措置することとし、各自治体の実施を促している。本市も、財政措置を活用して、支援を行うための調査と実施を行っては。

答 本市では、シルバー人材センターと協定を締結し、除草やごみ出しなどの支援を実施しており、そのうち、ごみ出し68回に係る経費3万4千円を特別交付税で申請した。

今後は、高齢者等の生活環境に合った効果的な支援や課題整理など、支援のあり方について検討していく。



ペットボトルごみの減量化について

問 環境政策として自動販売機からペットボトル製品をなくす取組みや、会議等でマイボトル普及など、利用抑制の取組みが必要では。

答 ペットボトルを含む廃プラスチックは、地球環境への深刻な影響が懸念されるため、減量化の取組みは重要である。

庁舎内自動販売機の脱ペットボトルについては、更新時に販売事業者と協議していく。

また、市環境審議会等ではリサイクル可能な紙コップ等の使用や、庁内会議等でもマイボトルの持参など、取組みを進めている。

今後は、廃プラスチック削減の重要性を市民が理解し、行動に移すことのできる各種施策を展開していく。

狩猟における後継者の育成について

問 高齢化している罾や銃等の狩猟免許保有者の後継者をどのように育てていくのか、施策は。

答 市では郡山市有害鳥獣捕獲隊に捕獲業務を委託しているが、隊員の高齢化や捕獲後の埋設作業の負担軽減等が課題と認識している。

県と連携し、県主催の講習会等の情報発信や、市として免許登録等や射撃技能訓練に係る経費の助成を行う等、捕獲隊員の担い手確保に繋げるとともに、各地区の捕獲隊が地区を超えて相互に協力して活動できる組織体制づくり等、効率的な捕獲業務の遂行を支援し、今後においても、鳥獣被害対策の要となる捕獲隊の後継者育成に取り組んでいく。



新政会
あrita よしただ
良田 よしだ

きんじろう
金次郎 議員



除雪業者に対する待機料などの保証制度導入について

問 県は待機に係る人件費や除雪機械の拘束料を除雪の有無に関わらず保証しており、市も除雪業者の抱える不安や経費負担を軽減するため、待機料等の保証制度を新たに導入すべきと考えるが見解は。

答 市は単価契約による稼働に対する出来高払いを基本とし、これまで単価見直しや深夜の割増単価、降雪が見込まれる場合の待機料を導入した。県と同様の制度を導入した場合、除雪の有無に関わらず多大な費用負担が発生する。

今後、周辺市町村の動向を注視しながら、安定的な除雪業務に向け、引き続き検討していく。



議会改革特別委員会の活動状況

■審議項目の決定

令和元年12月24日、令和2年1月10日、23日開催の委員会において、審議項目等に係る協議を行い、次のとおり審議項目を決定しました。

◇住民等の参加について
◇市議会議員一般選挙の時期について

◇議会設備の最適化と情報発信について

◇会派構成人員数と議会活動のあり方について

◇政策立案機能の強化について
◇質問のあり方について

◇常任委員会について

◇正副議長の立候補制について
◇本会議の列席説明員について

◇通年議会について

◇行政調査のあり方について

■審議項目に係る協議

1月23日、2月10日、3月18日、25日開催の委員会において、

次の審議項目に係る協議を行いました。

◇住民等の参加について

・議会報告会・意見交換会・市政相談会の開催など

◇市議会議員一般選挙の時期について

◇議会設備の最適化と情報発信について

・デジタル化の推進、更なる情報発信など

◇会派構成人員数と議会活動のあり方について

・交渉会派の人数、会派構成のあり方など

◇政策立案機能の強化について

今後も、議

会改革の推進

及び議会のあ

り方について

の調査・研究

に努めて参ります。



委員会の協議の様子

議員研修会

■開催日

令和2年2月7日

■内容

平時、災害時、復旧・復興期における議員の役割について

■講師

跡見学園女子大学

観光コミュニケーション学部教授

鍵屋 一氏

■目的

郡山市議会基本条例に基づき、議会の災害対応に係る機能強化を図るため。



講演の様子

研修会では、災害に備えた議員の役割はもとより、災害発生時における議会としての組織体制の確立や、取るべき対応、役割について御講演いただきました。



受講している議員の様子

その後、講演内容や災害時における議員活動等に関し、活発な質疑を交わし、災害時の行動基準や行動形態などを改めて認識するとともに、災害への備えや非常時の取組みについて、見識を深めました。

政務活動費検討委員会

政務活動費の社会経済情勢等を踏まえたより適正な運用等に関し検討を行うため、政務活動費検討委員会を設置しました。

■検討項目

- 1 最新判例を踏まえた対応について
 - 2 タブレット導入に伴う取扱いの変更について
 - 3 改選期の取扱いについて
 - 4 行政調査について
- 令和元年10月から計6回にわたり、広報誌や備品などの取扱いについて検討を重ねました。

■主な検討結果

◇広報誌の発行経費

次にあたる部分は、政務活動費の対象外とする。

- ① 2か所目以降の顔写真等
- ② 議会と会派の役職以外のプロフィール
- ③ 政務活動にそぐわない挨拶

◇備品の購入費用

政務活動費を充当できる額は、原則1/2以内とする。ただし、会派控室で使用するもの等を除く。

■議長への報告

2月13日に、政務活動費検討委員会報告書を正副委員長から議長へ提出しました。



報告書を手渡す正副委員長（左から1・2番目）と受け取る正副議長（左から3・4番目）

なお、委員会記録や報告書は、市議会ウェブページから御覧いただけます。



政務活動費検討委員会QRコード

議会の豆知識

●請願とは

請願権は、憲法で保障された国民の基本的権利で、国民が国や地方公共団体に対し、一定の希望を述べることをいいます。議会の審議で、採択か不採択かを議決します。

●採択された請願は

議会が請願を採択した場合、その内容を議会の意見として、国や県に対する意見書の提出を行います。

今定例会で採択された「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書」は、内閣総理大臣や厚生労働大臣、福島労働局長などに送付しています。



※関連項目…定例会のあらまし・議決結果等（2～3頁）、請願・陳情の方法（14頁）

市議会のはなし

市議会のしくみを分かりやすくまとめた冊子を発行しています。



こおりやま市議会だより

●行政センター、公民館、図書館などの公共施設に配置しています。

●視覚が不自由な方のために、点字版・音声版を発行しています。



6月定例会開催予定

6月定例会は、6月15日からの予定です。

なお、正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
6/14	15	16	17	18	19	20
	本会議一開会	議案調査（休会）		事務整理日（休会）	本会議 （市政一般質問）	休会
		※陳情締切			※請願締切	
21	22	23	24	25	26	27
休会	本会議（市政一般質問）			常任委員会		休会
28	29	30				
休会	事務整理日（休会）	本会議一閉会				

- ・本会議の様子をインターネットで生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く。）でも御覧いただけます。
- ・録画中継は、生中継の4日後（土・日曜日及び祝日を除く。）から公開します。



市議会中継 QR コード

議会の傍聴

こちらが傍聴席です



本会議や委員会の様子は、どなたでも御覧いただけます。議会の傍聴は、市政の運営を知り、市民の皆さんが選んだ議員の活動状況などを理解する一つの方法です。

	本 会 議	常 任 委 員 会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始 30 分前から	会議開始 40 分前～20 分前
定 員	74 人 ※先着順	各委員会 15 人 ※定員を超えた場合は抽選

編集 後記

今号の表紙は、令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた、永盛小学校の新年度を迎えた子どもたちの通学風景です。

現在、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、子どもたちの学校生活のみならず、市民の生活が脅かされている非常事態となっておりますが、「密閉・密集・密接」の3密を回避し、手洗いや咳エチケット、換気など私たち市民一人ひとりができることを行うことで、感染拡大防止に繋がります。私たち議員としても、早期の感染拡大の収束と完全なる終息を願うとともに、様々な課題に対し、しっかりと対応して参ります。（佐藤（栄））

市議会だよりに対する御意見、御感想は議会事務局総務課まで
TEL024-924-2521 メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp
印刷／株式会社やまと印刷

紙ヘリサイクル可

R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

VEGETABLE OIL INK

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。